

私がこのゼミを選んだ理由は、久保先生の政治制度論という授業に興味を持ったためです。ここでは、政治で起こる現象は別にどれもが偶発的なものではなく、理論づけることができることを学びました。私は、ゼミでは政治学の理論についてさらに理解を深め、世の中の政治を学術的に分析できるようになりたいと考え、久保ゼミに入りました。3年秋学期時点のゼミでは、比較政治を通して様々な政治の分野について学んでいます。その中で私が感じている事は、政治に正解はない、ということです。民主主義は一般的に政治体制のあるべき姿と考えられていますが、一方で戦後民主主義が崩壊した国も存在します。つまり、民主主義は万人受けする体制ではないということです。このように、既存の政治を鵜呑みにせず、様々な視点から研究できるという点で、このゼミは政治に対する考えを深めることができます。我々が政治で当たり前のように認識している事を厳密に考えてみると、意外と興味深いものです。僕たちと共に勉強してみましよう。市川凌（18JP1008）

久保ゼミでは、主に政治の基本的な教科書を用いて毎週ゼミ生が教科書の一章分を要約し、発表します。担当部分のわからなかったこと、議論したいことなどを久保先生やゼミ生に投げかけ理解を深めていくということが主な授業スタンスになっています。私は、久保ゼミでの一年間で政治学科の授業では当たり前に使われている「民主主義」や「政党政治」、「小選挙区制」などの理論をしっかり学び、二年間の授業では100%理解できていないことが多いと実感しました。このような知識の不足分を先生やゼミ生と一緒に理解を深めることができた為、さらに政治という学問に興味を持ちました。政治の基礎理論だけではなく、現在の自民党政治や日本の投票率の問題などの現実に即した話題も多く扱いました。もちろん、日頃のニュースで気になっている政治問題をゼミの授業の中で扱うチャンスも多くあります。最後に、我々の久保ゼミは人数のゼミとして活動しているので一人一人が授業中に発言する機会が多くあります。積極的に参加する人、政治問題に関心強い人はぜひこのゼミに入ってみてください。また、ゼミを通じて政治の理解を深めようとする人も大歓迎です。寺本雄太（18JP1084）

このゼミでは、毎週教科書の決められた章の要約を発表しあい、それを通して政治のシステムや役割を追究します。このゼミの一つの特徴として毎年少人数であるところが挙げられるのではないかと思います。（未来は予想できませんが…！）毎週発表があるのは大変ですが、少人数だからこそ、そんなに堅苦しくもないのが良いところです。わからないところも質問しやすいですし、先生はすべてを理解したうえで私たちにこの課題を与えているということがわかるので信頼できます。先生への質問だけでなく、学生同士で発表のあとに感想を言い合ったりする時間も私にと

ってはとても有益な時間です。同じゼミの二人はすごく真面目で勉強家なので、自分の適当さを痛感するときもありますが、こぢんまりとした空気でゼミができるのは私にとってとてもありがたいです。この文章が何かの役に立つかわかりませんが、私は今のところここを選んで良かったなって思っています！早瀬佳歩

(18JP1105)